

建築後50年を経過した学校の校舎建て替えについて

中野区立小中学校施設整備計画に基づき、学校統合を伴わない建築後50年経過校の校舎建て替えにあたっては、学校再編により一時的に未使用となる空き校舎を仮校舎として使用し、その間に現校舎を解体、新築することとしている。

しかしながら、仮校舎への通学にあたっては、通学距離が長くなることから、児童の徒歩圏外となる場合も想定される。

については、通学の安全対策や負担軽減の方策を検討していくうえで、校庭に仮設校舎を設置のうえ、現地で校舎建て替えを行うことについても、検討していく。

1 検討対象校（別添1参照）

（1）中野本郷小学校

仮校舎（向台小学校）へ通学する期間：2022年度～2023年度

（2）桃園第二小学校

仮校舎（上高田小学校）へ通学する期間：2023年度～2024年度

2 校舎建て替えの手法

（1）現行案（中野区立小中学校施設整備計画）

学校再編により一時的に未使用となる空き校舎を仮校舎とし、現校舎の解体・新築工事を進める。

（2）検討案

現校地の校庭に設置する仮設校舎を仮校舎とし、現校舎の解体・新築工事を進める。

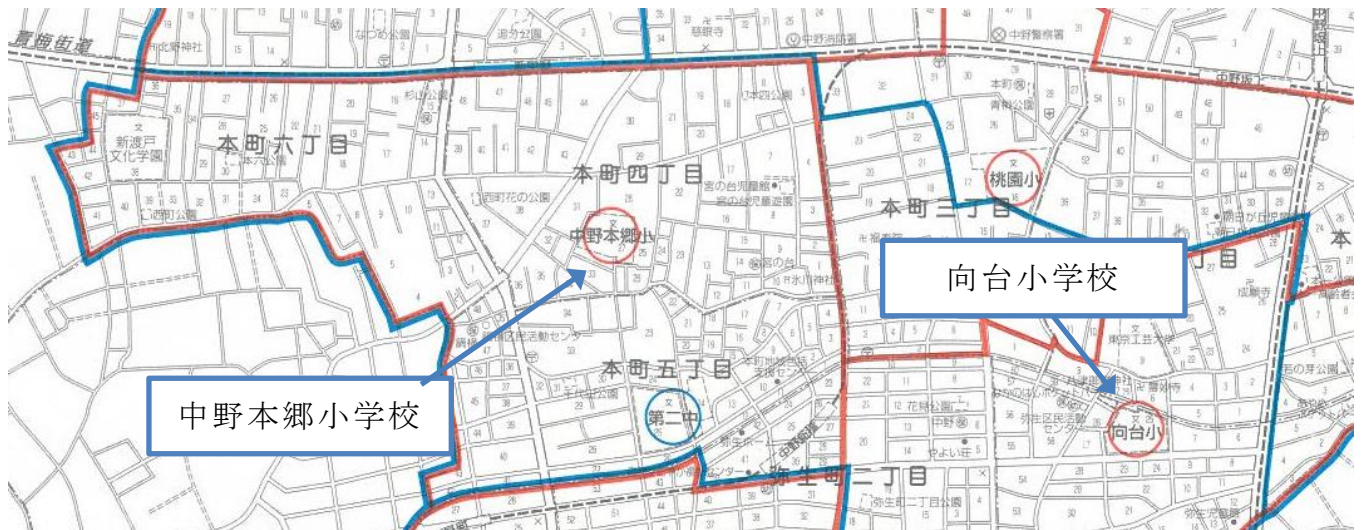
3 今後のスケジュール（予定）

2019年10月まで 校舎建て替え手法の具体的検証

2019年11月 子ども文教委員会（校舎建て替え手法の方針決定）

1 検討対象校

(1) 中野本郷小学校 仮校舎（向台小学校）への通学：2022年度～2023年度



(2) 桃園第二小学校 仮校舎（上高田小学校）への通学：2023年度～2024年度

